

令和6年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市ふれあいセンター洗馬		
所在地	塩尻市大字洗馬2713番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日（5年間のうち2年目）		
募集方法	公募	施設担当課	健康福祉部 地域共生推進課

1 業務実績（指定管理者）

当初計画		実 績	
【コミュニティソーシャルワーカーの設置】 件		【コミュニティソーシャルワーカーの設置】 1 総合相談事業	
・総合相談事業	650件	・総合相談事業	
		・相談件数	福祉相談 1,276件 ボランティア相談 383件 有償福祉サービス 110件 福祉学習 46件 地域支援 581件 介護相談 28件 健康相談 3072件
		・相談形式	電話 1,896件 訪問 265件 来所 354件 会議 328件 (来所件数に健康相談は含まない)
【西部圏域の地域福祉活動の推進】		【西部圏域の地域福祉活動の推進】	
1 講座の開催		1 講座の開催	
・地区講座	月1全6コース	・地区講座の開催	72回690人
・介護予防講座	年10回4講座	・介護予防講座	40回547人
・ふれあい講座		・ふれあい講座	
		ほうば巻きづくり	1回16人
		男性料理教室	1回 8人
		タッチケアセラピー	1回11人
		蕎麦打ち教室	1回24人
		シニアいきいき健康教室	1回15人
		おやき教室	1回22人
・地域福祉力アップ講座		・地域福祉力アップ講座	
		リビングウィル講座	1回44人
		健康麻雀教室	1回34人
2 社協支部分会との連携		2 社協支部分会との連携	
		社協支部分会役員研修会（西部圏域）	3回
		社協支部総会（西部圏域）	3回
		支部福祉懇談会（西部圏域）	3回
		洗馬子育てサロン	10回205人
		洗馬支部情報誌「ちょっとひと休み」発行支援	4回
		洗馬支部移動支援情報誌発行支援	1回
		太田分会総会参加	1回
		太田区楽老会支援	2回
		奈良井ラボ参加	1回
		牧野分会コンサート開催支援	1回
3 福祉学習の推進		3 福祉学習の推進	
		西部圏域支援	
		宗賀小学校、洗馬小学校	2校 5回
		塩尻西部中学校、檜川小中学校	2校16回
		・子ども福祉教室（児童館）	2回32人
		その他の支援	

		・サマースクールふくし講座	1回
		・中高生の部屋	8回
		・共創共学プラットフォーム	3回
		・消費生活の会研修会講師	講師 1回
		・支所長研修会講師	講師 1回
		・室内レク講座	講師13回
4 住民活動の支援 ・西部圏域の住民福祉活動支援	4 住民活動の支援 ・西部圏域の住民活動支援	関所亭活動支援	15回
		木曽平沢空家支援	2回
		市と連携した空き家対策に関する検討会	2回
		LOCAL NIGHT PICNICボランティア支援	1回
5 災害対策事業	5 災害対策事業	避難訓練	2回
		・防災キャンプ飯講座	2回104人
6 洗馬お元気食堂	4回/年 6 洗馬お元気食堂		4回 76人
7 地域課題解決の取り組み	7 地域課題解決の取り組み	すがのの郷と連携した買い物支援「昼市」	1回
		交通課題検討チーム	10回
		移動支援学習会	1回
		洗馬支部移動支援サービス検討会	7回
		実証運行	5回17人
8 地域福祉活動計画の推進	・地域福祉計画及び地域福祉活動計画推進チーム会議		7回
	・まちやくらしみんなの語り場		3回54人
9 地域包括ケアシステムの推進	・洗馬地区地域ケア推進会議		1回
	・宗賀地区対話集会		1回
	・地域共生推進課との打ち合わせ		9回
【世代間交流】		【世代間交流】	
・幅広い世代の交流事業	ふれフェス（3センター共催）		1回171人
	クリスマスコンサート		1回145人
・図書コーナーの利用	・図書コーナーの利用		貸出201冊
【ボランティア活動の推進】		【ボランティア活動の推進】	
1 講座の開催 ボランティア講座	1 講座の開催	・ほうば巻きづくり	1回16人
		・男性料理教室	1回 8人
		・タッチケアセラピー	1回11人
		・そば打ち教室	1回24人
		・シニアいきいき健康教室	1回15人
		・おやき教室	1回22人
2 ボランティア相談	・ボランティア相談		383件
3 施設に関わるボランティア登録	・自主グループ活動支援		3グループ
	・オレンジカフェ		11回132人
【地域ネットワークづくり】		2 支え合いのネットワークづくりの推進	
1 西部圏域福祉ネットワーク構築	1 西部圏域福祉ネットワーク構築	・会議への参加	
		区長理事会への参加	1回
		区長会長会民協会会長会情報交換会	1回
		民生児童委員協議会地区会への参加	
		洗馬地区	4回
		宗賀地区	7回
		檜川地区	3回
		支部分会支援	
		支所長打合せ	10回
		支部福祉懇談会	3回
	・公民館との連携		
	宗賀公民館行事		4回
	洗馬公民館行事		3回
	中央公民館行事		1回
	・ケースの共有、連携の強化		
	地域福祉推進員連絡会議		12回

		西部包括・CSW会議	10回
		全世代対応型支援体制検討チーム事務局会議	8回
		重層事業支援会議	5回
		不登校支援に関する情報交換会	1回
		シニアに関する情報交換会	2回
2 有償福祉サービス事業の実施		2 有償福祉サービス事業の実施	
		サービスの提供	55回
		活動時間	74時間
		担当者打ち合わせ会	12回
		サポーター新規登録	20人
		利用者新規登録	9人
		新規相談	14件
		継続相談	74件
		サポーター連絡会、説明会	4回
		養成講座	1回
		・活動者の育成	
【利用者の福祉の増進】		【利用者の福祉の増進】	
1 講座の開催		1 講座の開催	
・高齢者生きがい講座		・高齢者生きがい講座	
地区講座	6コース72回/年	・地区講座の開催	
		G1（小曾部、芦ノ田）	12回135人
介護予防講座	4講座 各10回/年	G2（岩垂、太田、上組、元町）	12回122人
		G3（奈良井）	12回 97人
		G4（平沢）	12回120人
		G5（桔梗ヶ原、平出、小井戸、床尾、宗賀洗馬）	12回100人
		G6（平沢、賛川、日出塩、本山、牧野）	12回116人
		・介護予防講座	
		笑って健康体操①	10回105人
		笑って健康体操②	10回126人
		銭太鼓①	10回170人
		銭太鼓②	10回144人
2 団体利用の会場提供		2 団体利用の会場提供	
・福祉活動を行う住民、団体及びボランティア		・福祉活動を行う住民、団体及びボランティア	
グループへの会場提供		グループへの会場提供	127回
3 福祉ふれあいバス運行		3 福祉ふれあいバス運行	
・バスの運行		・講座	15回
		・団体	112回
【利用者懇談会の開催】		【利用者懇談会の開催】	
・ふれあいセンター洗馬利用者懇談会	1回/年	・ふれあいセンター洗馬懇談会	1回
・苦情解決に関する委員会	2回/年	・社会福祉協議会苦情解決に関する委員会	1回
・利用者からの意見聴取	1回/年	・利用者アンケートの実施	1回
		（一般利用者、講座受講者）	
・ご意見箱の設置		・ご意見箱の設置	
【施設維持管理】		【施設維持管理】	
1 管理保守点検等業務		1 管理保守点検等業務	
・建築設備保守管理業務		・建築設備保守管理業務	
		職員による目視での点検	1回/週
・建築設備保守点検業務		・建築設備保守点検業務	
ボイラー保守点検	2回/年	ボイラー保守点検	2回（8.2月）
自動ドア保守点検	3回/年	自動ドア保守点検	3回（7.11.3月）
貯水槽清掃	1回/年	貯水槽清掃	1回（3月）
給水ポンプ保守点検	1回	給水ポンプ保守点検	1回（3月）
消防設備点検	2回	消防設備点検	2回（12.3月）
ろ過装置保守点検	2回	ろ過装置保守点検	2回（6.3月）
電気保安管理	1回/月	電気保安管理	1回/月
太陽光給湯システム点検	1回	太陽光給湯システム点検	1回（6月）
・備品等保守管理業務		・備品等保守管理業務	
券売機点検	1回	券売機点検	（購入したばかりで保守必要なし）回
マイクロバス定期点検		マイクロバス定期点検	なし

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	303日	304日	303日	100.3%
施設利用者	18,000人	19,135人	17,857人	107.2%
施設利用者数(団体)	2,000人	1,934人	1,856人	104.2%
施設利用者数(個人)	16,000人	15,454人	14,158人	109.2%
入浴者数		14,337人	13,541人	105.9%
入浴券売上		3,682,500円	3,318,000円	111.0%
健康相談		3,072人	3,017人	101.8%
福祉相談		1,601人	1,076人	148.8%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	地域福祉の拠点として、西部圏域の総合相談窓口機能を拡充・強化しています。利用人数は、全体では前年度7.1%増となりました。団体利用、個人利用が増え、入浴利用者は増入浴券の売り上げも増加しています。支部分会支援、元気づくり事業が圏域に移管したことで地域の役員等の来所が増えました。地域活動につながる講座の実施や世代間交流の事業を進めました。センターの存在や取り組みをより多くの方々に知っていただき、地域の皆様に積極的にご活用いただけるよう、様々な広報活動に取り組みました。具体的には、地域住民との交流の場として「ふれあいセンターフェスティバル(ふれフェス)」を開催し、センターの活動内容や魅力を直接ご紹介する機会を設けました。また、若年層を含む幅広い世代への情報発信をするため、SNSの活用を進め、タイムリーな情報提供や活動の様子を発信することで親しみを高めています。
施設担当の 評価・分析	ふれあいセンターについては、多くの世代への周知と利用者の増加を図るため、イベント内容の工夫やSNSの活用など、さまざまなツールを活用して広報活動に取り組んで頂いた。実際に、前年度比で利用者が7.1%増加するなど、広報活動の効果も見られる。また、支部分会支援、元気づくり事業が圏域に移管されたことにより、より地域に身近な存在となり、地域の実情にあった取り組みが展開されている。今後は、総合相談窓口の体制強化と周知をさらに進め、あらゆる住民が安心して集える居場所として、また総合的な相談機能を備えた拠点としてより広く認知・活用されることを期待している。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

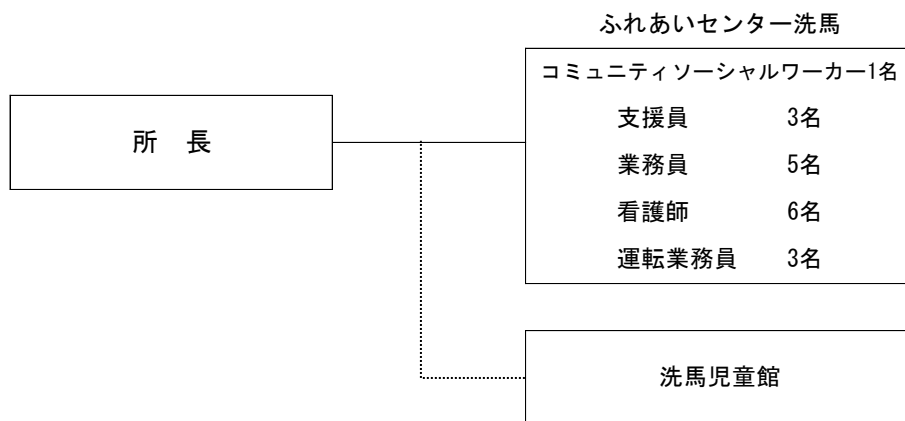
	項 目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料収入	32,617,000	32,562,572	31,599,180	103.0%
	・ 参加料収入	54,000	37,174	34,100	109.0%
	・ 利用料収入	3,462,000	3,682,500	3,288,900	112.0%
	・ 会費収入	0	0	0	0.0%
	・ 雑収入	138,000	294,148	217,547	135.2%
	・ 拠点区分間繰入金収入	4,204,000	0	263,000	0.0%
	収入計 (A)	40,475,000	36,576,394	35,402,727	103.3%
支 出	・ 人件費	22,554,000	23,075,026	18,763,378	123.0%
	・ 保健衛生費	132,000	94,808	100,949	93.9%
	・ 教養娯楽費	61,000	56,303	59,306	94.9%
	・ 水道光熱費	9,510,000	9,435,112	8,545,094	110.4%
	・ 消耗器具備品費	434,000	360,636	408,081	88.4%
	・ 保険料	150,000	481,900	159,120	302.9%
	・ 車輛費	517,000	676,028	322,784	209.4%
	・ 職員被服費	26,000	25,490	33,600	0.0%
	・ 諸謝金	409,000	385,000	369,000	104.3%
	・ 旅費交通費	5,000	0	0	0.0%
	・ 研修研究費	19,000	13,045	7,660	170.3%
	・ 印刷製本費	20,000	21,615	0	0.0%
	・ 事務消耗品費	3,000	0	31,900	0.0%
	・ 修繕費	340,000	245,572	92,180	266.4%
	・ 通信運搬費	267,000	286,074	241,262	118.6%
	・ 会議費	51,000	36,713	57,086	64.3%
	・ 業務委託費	2,566,000	2,537,691	2,580,266	98.3%
	・ 手数料	91,000	114,900	90,415	127.1%
	・ 保険料 (火災)	12,000	11,257	11,257	100.0%
	・ 賃借料	150,000	169,087	210,273	80.4%
	・ 土地・建物賃借料	204,000	204,000	204,000	100.0%
	・ 租税公課	24,000	17,600	14,100	124.8%
	・ 保守料	624,000	604,285	623,535	96.9%
	・ 諸会費	6,000	6,000	10,500	57.1%
	・ 雑支出 (退職年金事務費等)	34,000	35,388	34,173	103.6%
	・ 退職手当、年金共済掛け金	882,000	922,857	890,322	103.7%
	支出計 (B)	39,091,000	39,816,387	33,860,241	117.6%
	収支 (A) - (B)	1,384,000	△ 3,239,993	1,542,486	
	・ 事務諸経費	0	2,605,005	1,848,486	-

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	82.8%	82.8%
負債比率（（流動負債＋固定負債）/資本×100）	20.8%	20.8%
固定比率（固定資産/資本×100）	95.0%	96.3%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	516.2%	392.0%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	1.2%	1.5%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
・施設長1人（常勤） ・コミュニティソーシャルワーカー1人（常勤） ・支援員2人（常勤1人、非常勤1人） ・事務員（受付、施設管理）4人 ・看護師 5人 ・運転手 3人	・施設長 1人（常勤） ・コミュニティソーシャルワーカー 1人（常勤） ・支援員3人（常勤 2人、非常勤 1人） ・受付業務員 5人 ・看護師 6人 ・運転手 3人



7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
アンケート調査 1回/年	アンケート調査 1回/年
ふれあいセンター洗馬まつり 1回/年	ふれフェス（3センター共催） 1回/年
ふれフェス（3センター共催） 1回/年	クリスマスコンサート 1回/年
苦情解決に関する委員会 1回/年	苦情解決に関する委員会 1回/年
	利用者懇談会 1回/年

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

（１）実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点											
			指定管理者						施設担当課					
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5		
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
職員体制	7	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
	8	スタッフのシフトは適正であるか（労働基準法を遵守しているか）	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
（１）評価点合計（16項目）			49						49					

（２）収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点											
			指定管理者						施設担当課					
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5		
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5		
（２）評価点合計（8項目）			24						24					

（３）サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点											
			指定管理者						施設担当課					
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5		
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5		
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－		
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－		
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5		
（３）評価点合計（16項目）			50						49					

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

（評価点の総計）

評価点総計 （満点164点）	指定管理者	123点	75.0%	施設担当課	122点	74.4%
-------------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	3	利用人数は前年度7.1%増となる。団体利用、個人利用が増えている。支部分会支援、元気づくり事業が圏域に移管したことで地域の役員等の来所が増えた。	3	支部分会支援、元気づくり事業が圏域に移管したことで、より地域に身近な存在となり、地域の実状や課題の把握・検証に取り組んで頂いた。今後も地域に根差した福祉の拠点として地域との関係を深めてほしい。
	9	職員の資質向上及びサービスの質の向上を目的とした教育・研修を計画的に実施した。特に社協事業の補助金申請の仕方やボランティア保険の手続きなど研修を行った。	9	総合相談機能の強化や、利用者の多様化が進む中、様々な利用者のニーズを想定した研修の充実などに今後も継続して努めてほしい。
	10	業務日誌や関連書類を日々適切に作成し、保管を行っている。内容も簡潔かつ要点を抑えている。	10	引き続き、適切な作成と管理に努めてほしい。
(2) 収支等の評価	20	利用料収入など現金は複数職員で確認し、適せつに管理している。	20	入浴料金の見直しに伴い、窓口業務が混乱することがないように、引き続き丁寧な対応に努めてほしい。
	21	経費節減に努めたが、物価高騰や光熱費の上昇、人件費の増加などにより支出が増え収支が赤字となった。	21	入浴料金の見直しを検討しているため、それに伴う効果や課題など、収支が黒字になるよう共に検証していきたい。
	24	塩尻市事業者間取引券事業を活用し、商品券を購入・利用をした。	24	物価高騰や光熱費の上昇、人件費の増加などにより支出が増えるなかで工夫し、経費削減に努めている。
(3) サービス等の内容や水準	26	丁寧な言葉遣いが常に維持されており、相手に安心感を与える対応ができている。相手の話をよく聴く姿勢がみられる。身だしなみや態度に大きな問題はない。	26	地域に開かれた居場所として、利用者が安心して過ごせるよう、引き続き取り組んでほしい。
	29	苦情や要望に対して迅速かつ適切な対応が概ね実施されている。利用者、関係者からの信頼の維持に貢献している。	29	利用者の声を丁寧に拾い上げ、迅速な対応に努めている。引き続き、意見を適切に整理・分析し、優先順位をつけながら体制の整備に努めてほしい。
	30	ホームページは基本的な情報提供機能をはたしており、利用者にとっても使いやすい構成となっている。定期的な更新を行っている。	30	より多くの世代への認知度向上を図るため、年代に応じた周知の方法の工夫に引き続き取り組んでほしい。
	34	総合相談窓口の拠点であるふれあいセンターを広く地域の皆様に知っていただくことを目的に「ふれフェス」を開催した。	34	イベントを通じて周知を行い、利用者の拡大に努めている。今後さらに、こうした取り組みを通じて、利用が定着していくことと共に、福祉の総合相談窓口としてもより広く認知・活用されていくことを期待したい。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	■自己評価 利用人数は全体的に前年度と比較して7.1%の増加となり、引き続き多くの方々にご支援をいただいている。最近では、団体でのご利用や個人のお客様のご来館が増加傾向にあり、それに伴って全体の入浴利用者数も増えております。さまざまなニーズに対応したサービスの充実により、幅広い年代の方々にご好評をいただいております。結果として施設全体のご利用頻度が高まっている状況です。支部分会支援や元気づくり事業が圏域へと移管されたことにより、それらの事業に関わる調整や打ち合わせ、情報共有の必要性が高まったため、地域の役員の皆様が当施設へ足を運ばれる機会が以前よりも増加しています。この移管を契機として、地域との連携がこれまで以上に蜜になってきていると感じています。 ふれあいセンターを広く周知し、活用していただくために「ふれフェス」の実施や、SNSの活用・ホームページの改善、更新により情報発信しました。また、講座やイベントの運営に学生やシニア世代を巻き込む工夫をしたことで、地域福祉に対する住民意識が高まりました。
	■今後の改善策（短期的に対応可能なもの） 様々な世代の方々にふれあいセンターをご利用・ご活用いただくために、ホームページ・SNS、Instagram、洗馬おたよりなど広報媒体を積極的に活用し、情報発信を強化していきます。また、アンケート調査や日頃の利用者の声を通じてニーズを的確に把握し、それらの意見を今後の事業展開やサービスの改善に反映させることで、より利用者に寄り添った魅力的なセンター運営をめざします。 地域における講座やイベントなどのセンター事業については、より多くの住民に関心を持っていただけるよう、地域の関係機関や団体が集まる会議や講座の場を通じて積極的に情報提供・周知を行っていきます。
	■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの） 地域の福祉拠点としての役割を担い、地域住民や市民活動団体、関係機関など多様な主体との連携、協働を図りながら、地域に根ざした福祉活動の推進に取り組みます。
	施設担当課 支部分会支援、元気づくり事業が圏域に移管されたことにより、より地域に身近な存在となり、各地域の実状や課題の把握・検証に取り組んで頂いた。今後も地域に根差した福祉の拠点として、住民との信頼関係を築き、地域の課題解決に向けて取り組んでいただきたい。また、講座やイベントを通じて、ふれあいセンターの周知や利用者の増加につながっていると思われる。講座やイベント等を開催することにより、個々の講座の目的達成度や地域への効果、また参加者の反応等について、振り返りや評価を引き続き行い、施設全体の運営や、業務とのバランスを踏まえつつ、事業を俯瞰しながら、事業全体の内容や構成の見直しや調整、他団体との連携が図っていけるとよい。